

ふりがな 氏名	つだか えみ	都道府県	兵庫県
	津高 絵美		
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西学院千里国際高等部 / 教諭</li> <li>・西宮市環境計画推進パートナーシップ会議委員</li> </ul>		
関心・活動のSDGs	  		
私のESD活動	<b>気候変動問題対策の実践者への訪問・インタビュー活動を土台とした高校生向けの課題研究プログラム運営</b>		
<b>活動の概要</b>			
<p>気候変動の影響を毎年肌で感じる中で、私たちの社会は対策を十分に考え実行できているでしょうか。現役世代も迅速に確実に取り組むと同時に、次世代に確実にその問題の重要性や現状を伝えることも重要だと考えています。私は勤務先の高校で、気候変動問題対策に取り組む省庁や企業、NGO や研究所に生徒と訪問し、実践者から直接レクチャーを受けたり、インタビューを行ったりして、高校生が気候変動問題の最新の知見を、またその対策の最前線を知り、探究していき、最終的に研究論文やポスターにまとめるプログラムを担当しています。その結果、確実に気候変動問題に明るい高校生を輩出し、中には国際会議に参加する生徒も出てきました。</p> <p>この背景には私が2019年に行われたCOP15に一人の学生としてオブザーバー参加した経験があります。その時に、国際社会の決断の場を肌で感じ、世界から集う多様なアクターが場を共にし、議論や交渉を重ねていく「創造のプロセス」に圧倒されました。この経験に心を動かされ、「私がローカルに活動することは国際社会につながっている」のだと実感しました。このことから、実践者と実際に話をしてわかることの多さや、世界がつながっている感覚を持つことの重要性を感じ、現在は高校教員として働く傍ら、私も気候変動問題対策に寄与するべく、市の環境計画推進パートナーシップ会議の委員として、グローバルな目標をローカルで実現させるべく取り組んでおります。</p>			
<p>・SGH 関連プログラムの blog <a href="https://sisssh-jp.blogspot.com/">https://sisssh-jp.blogspot.com/</a></p> <p>・西宮市環境計画評価委員の活動 <a href="https://www.nishi.or.jp/kotsu/kankyo/kankyokeikaku/shingikai/kankyokeikaku.html">https://www.nishi.or.jp/kotsu/kankyo/kankyokeikaku/shingikai/kankyokeikaku.html</a></p>			
<b>私が考える教育の未来像</b>			
<p>地球規模の問題は深刻化してきています。だからこそ、これからの教育は、世界のあるがままの現実を見せたり、その現実はどう立ち向かっているのかという実践者のたくましい姿から学ぶ、よりオーセンティックな学びが中心になっていくと考えます。そのために、教員も地球規模の問題の現場に関わることが大事だと考えます。私も職場外で、環境政策の委員を務める、気候変動問題に取り組む一人であり、職場では生徒に最前線の情報や実践者から学ぶ機会を提供し、それぞれの居場所で気候変動問題に挑める生徒を育てていきたい、気候変動問題というものを人生のミッションに加えて生きていくことにいざないたいと思っています。</p>			
<b>私の強み、活かせる経験やスキル</b>			
<p><b>強み:</b> よく学び・実践・還元する姿勢。地域の環境委員として活動し私自身がより良い環境政策の形を探究しながら、現職場で課題研究の授業を担当。</p> <p><b>経験:</b> 学生時代に気候変動の国際会議にオブザーバー参加。COP15 では様々な国のユースを集めたワールドカフェのイベントを企画・実施。仲間と ClimateYouthJapan という NGO を立ち上げ。環境省からの基金を得て、国際会議へのユース派遣プロジェクト企画・実施。現職場では人脈を生かして高校生向けのフィールドスタディを生徒の希望をもとに企画立案・実施。総合探究科目のカリキュラム立案・授業担当。2015年よりスーパーグローバルハイスクール勤務。</p> <p><b>スキル:</b> プロジェクトのマネジメントスキル・コミュニケーション力</p>			